

エルサルバドル政治経済月報 (2025 年 2 月)

2025 年 2 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. エルサルバドル国際協力局 (ESCO) の廃止

(1) 官報 (1 月 30 日付)

大統領府管轄のエルサルバドル国際協力局 (ESCO) を廃止する。大統領には、国際協力のあり方に関する新たなビジョンがあり、国民により大きな影響と利益をもたらすために、異なる政府機関を「再編成」することを通じて、さまざまな分野の既存のニーズに応じて、複数のアクターから提供されるリソースを最適化する必要がある。ESCO の機能、権限、責任及び義務は外務省 (外務担当副大臣室) に引き継がれ、ESCO に言及するすべての法律や条約等の文書は外務省を指すこととなる。

(2) 報道 (2 月 12 日付ラ・プレンサ・グラフィカ紙及び 13 日付エル・ムンド紙)

ESCO は 2020 年 6 月末に設立され、他の公的機関の介入なしに外国からの技術・資金協力を管理する権限を持つとされたことで、疑問視されていた。公式 HP によれば、ESCO は 2023 年までに、教育へのアクセス、基本的サービス、持続可能な農業、社会福祉、コーヒー、気候変動、児童・青少年、社会復帰、健康、食糧安全保障、市民の安全保障、透明性、オープンガバメント、観光に関する 80 以上の協力プロジェクトを管理・運営してきた。

外交

1. USAID に関するブケレ大統領の SNS 投稿

2 月 2 日、ブケレ大統領は、ノーマン・ロックウェルの「言論の自由」の絵画の画像と共に、USAID に関するコメントを英文にて自身の X アカウントに以下のとおり投稿。

多くの政府は USAID の資金が自国に流れ込むことを望んでいない。なぜなら、大半の資金がどこに流れるかを知っているからだ。開発、民主主義、人権への支援として売り出されているが、これらの資金の大半は、野党グループ、政治的意図のある NGO、不安定化させる運動に注がれている。必要とする人々を支援する実際のプロジェクトに使われるのはせいぜい 10% 程度で (確かにそのようなケースもある)、残りは反体制を煽り、抗議活動を資金援助し、グローバリストのアジェンダに従うことを拒否する政権を弱体化するために使われる。このいわゆる援助を削減することは、米国にとって有益だけでなく、世界の国々にとっても大きな勝利である。

2. ルビオ米国務長官のエルサルバドル訪問（大統領府 SNS 他）

(1) 2月3日、ルビオ米国務長官が中米訪問の一環としてエルサルバドルを訪問し、ブケレ大統領と会談を行った他、ヒル外務大臣と原子力エネルギー開発協力にかかる覚書に署名した。ブケレ大統領は SNS にて、米国籍含めあらゆる国籍の収監者を有料で巨大刑務所であるテロ対策センター（GECOT）に受け入れることを米国に提案した旨明らかにした。

(2) 米国務省はプレスリリースにて、地域全体を不安定化させている大量の不法移民の波に対抗するため、複数の合意が成立したこと、エルサルバドルの国境警備や警察、検察に対する支援凍結の解除を通知したこと等を発表した。

(3) ルビオ長官は、ブケレ大統領との会談に先立ち、空港内で機体のメンテナンスや修理を行う民間企業を視察し、民間投資、質の高い雇用創出、能力向上と不法移民を妨げるエルサルバドル経済強化の機会の好例と評価した。また、ブケレ大統領による収監者受入れ提案を、トランプ大統領が「信じられないほどの友人の証」と受け止めた旨明らかにした。

3. ウジョア副大統領の外国訪問（副大統領室 SNS）

(1) スイス

2月5日、ウジョア副大統領は、自身が学長を務める公共行政イノベーション高等学院（ESIAP）の役員と共にスイスを訪問、フィリップ・モリス社本社を訪問し、科学技術やイノベーションの導入の実態について視察・関係者と意見交換した。また、ジュネーブの国連平和大学常設代表部を訪問し、公務員育成についての協力につき協議した他、国際赤十字委員会の副会長とも会談した。

(2) アラブ首長国連邦

2月11～14日、ウジョア副大統領は、アラブ首長国連邦を公式訪問し、第12回ワールド・ガバメント・サミットに出席し、ブケレ政権の治安対策や汚職対策について紹介した。さらに、Salem bin Khalid Ad Qassimi 文化大臣、Reem Al Hashimy 国際協力担当大臣等と会談した他、Sheikh Abdullah Bin Zayed Al Nahyan 外務・国際協力大臣と立ち話を行った。

また、World of Coffee Dubai2025にも出席し、エルサルバドル産コーヒーのプロモーションを行った。

4. 日エルサルバドル外交関係樹立 90 周年

2月15日、日本とエルサルバドルは、外交関係樹立 90 周年を迎えた。同日、ディアリオ・エル・サルバドル紙（政府系）には、石破総理のメッセージが掲載された他、28日にはヒル外務大臣の寄稿が掲載された。

De **Dinero** Sábado 37

MENSAJE DEL SR. ISHIBA, EL PRIMER MINISTRO DEL JAPÓN, por la ocasión del 90° aniversario del establecimiento de las relaciones diplomáticas entre El Salvador y Japón.

Japón espera promover la relación con El Salvador a un nuevo nivel



Shigeru Ishiba, Primer Ministro del Gobierno del Japón

Apertura de la Embajada Japonesa en San Salvador

Reunión de los gobiernos celebrando la AECU del 2025

Con motivo del 90° aniversario del establecimiento de relaciones diplomáticas entre Japón y El Salvador, que marca el Año de la Amistad Japón-EE.UU., me gustaría expresar mis más sinceras felicitaciones al nombre del Gobierno y al pueblo del Japón, y también expresar mi gratitud al Gobierno y al pueblo de El Salvador por sus esfuerzos en favor del mayor desarrollo de las relaciones entre nuestros dos países.

Japón y El Salvador llevan muchos tiempo profundizando en las interacciones en sus campos de cooperación, como la política, la economía y la cultura. Las empresas japonesas han estado operando en El Salvador desde poco después del final de la Segunda Guerra Mundial. Y hoy, con el impulso del desarrollo de las economías de ambos países, El Salvador fue candidato al primer país de América Latina en recibir el estatus de JICA (Agencia de Cooperación Internacional de Japón) en sus reglas de comercio.

En los últimos años, me complace que, bajo el liderazgo del presidente Nayib Bukele, El Salvador haya experimentado una mejora drástica en la seguridad pública. También espero a crear una sociedad en la que todas las personas puedan vivir en paz y prosperidad. En el futuro, espero poder ampliar nuestra cooperación y trabajar juntos para abordar los desafíos que enfrentamos en el futuro internacional.

En mayo del año pasado, en un nuevo discurso sobre política en América Latina y el Caribe, Japón anunció su política de "respetar mutuamente y aprender uno de otros, y crear conjuntamente soluciones a través del diálogo, en respuesta a los desafíos que enfrenta la comunidad internacional" y los temas comunes que enfrenta la humanidad.

A través del Año de la Amistad, que marca el 90° aniversario del establecimiento de relaciones diplomáticas entre Japón y El Salvador, esperamos promover este diálogo y llevar la cooperación entre Japón y El Salvador, así como entre Japón y los países miembros del Consejo de la Integración Centroamericana (CICCA), a un nuevo nivel. El objetivo de este diálogo no es solo posible únicamente a través de las relaciones entre gobiernos, y me gustaría solicitar una amplia participación de los ciudadanos de ambos países.

Quiero concluir expresando mis mejores deseos para el futuro desarrollo de las relaciones amistosas y de cooperación entre los dos gobiernos y pueblos.

Febrero de 2025
Primer Ministro del Gobierno del Japón,
ISHIBA Shigeru

[@diarielsalvador](https://twitter.com/diarielsalvador) [diarielsalvador](https://www.facebook.com/diarielsalvador) [diarielsalvador](https://www.instagram.com/diarielsalvador) [diarielsalvador](https://www.youtube.com/channel/UC...)

90 años de relaciones bilaterales: un camino de crecimiento conjunto

por Alexandra Hill / Ministerio de Relaciones Exteriores — 28 de febrero de 2025 En DePalabra Tiempo de lectura: 3 mins read 4A



Hazte visible
Modifica tu DUI

Conoce más en dui.sv

Los Angeles Azules en vivo este sábado: descubre la posible result [SPOT](#)

Marzo 2025: Conoce los rituales que debes hacer entre la Luna en su fase Llena y Nueva [SPOT](#)

Recibe notificaciones de noticias [SPOT](#)

(出典: Diario El Salvador)

5. 中南米欧州議会理事会の開催（副大統領室 SNS）

2月27～28日、中南米欧州議会（EUROLAT）理事会がサンサルバドルで開催され、ウジョア副大統領がカルロス・エルナンデス中南米側共同議長やガブリエル・マト欧州側共同議長と共に出席し、エルサルバドルの現状について共有した。

経済

1. ミラ外務副大臣によるメキシコ日本商工会議所例会でのプレゼンテーション（外務省プレスリリース）

2月21日、ミラ外務副大臣は、メキシコ日本商工会議所例会において、メキシコ進出日本企業を対象にエルサルバドルへの投資誘致及び同国への輸出促進のためのプレゼンテーションを実施した。ミラ副大臣は、世界の主要市場へのアクセス、生産力、地理的利点、インセンティブ、改善された治安、適切なインフラといった良好なビジネス環境を強調し、また、日本はアジア大陸における高品質なエルサルバドルコーヒーの第1位のバイヤーであるほか、貿易と投資の両面で日本企業を惹き付けるセクターとして、航空、食品及び飲料、デジタル資産、デジタルプログラム及びコンテンツの開発、電気機器、自動車部品、医薬品、観光分野を挙げた。

2. ファミリービジネスミーティング 2025 のエルサルバドルでの開催（大統領府 SNS）

2月23日、大統領府において中米のビジネスリーダーによる「第20回ファミリービジネスミーティング 2025 (Encuentro Empresarial de Padres e Hijos)」が開催された。ブケレ大統領夫妻は20か国以上から最も影響力のあるビジネスマンを迎え、エルサルバドルへのビジネス投資の魅力や民間投資の必要性をアピールした。

3. 太平洋空港起工式の開催（大統領府 SNS）

2月25日、ブケレ大統領は、ラ・ウニオン県の太平洋空港の起工式を開催した。工事の第一段階への投資額3億8640万ドルは、アンデス開発公社（CAF）、スペイン政府及びエルサルバドル港湾空港運営委員会（CEPA）から拠出される。空港ターミナルの運用が2027年後半期に開始すると、年間で旅客30万人と2,000便の受け入れが見込まれる。滑走路は2,400メートル、2か所の搭乗ゲートを備える。また、このプロジェクトは直接的及び間接的に1万人の雇用を創出する。工事第二段階では、滑走路を3,000メートル拡張、8か所の搭乗ゲートを建設し、年間8,000便、100万人の旅客数を見込む。工事第三段階では、年間4万便、500万人の旅客を見込む。また、搭乗ゲートは合計18か所となり、GDPへの貢献は毎年1.5%と推定される。この空港は、東部地域の住民120万人に恩恵をもたらす、10年間で5万人の直接的・間接的雇用を生み出すとした。

4. IMF 理事会による 14 億ドルの EFF 支援プログラムの承認（IMF プレスリリース）

2月26日、国際通貨基金（IMF）理事会は、エルサルバドル政府に対する14億ドル、40ヶ月間の長期融資制度（EFF）による支援プログラムを承認した。IMF クォータの360%に相当する10億3,392万SDR（特別引出権）のうち、8,616万SDR（約1億1,300万米ドル相当）を即時に支払うことができる。またこれにより、プログラム期間中で総額35億米ドルを超える追加の多国間金融支援を促進することが期待される。